

無料

# がん・歯周病検診のお知らせ

～ 毎年必ず受けましょう ～



自宅で  
できます!

当健康保険組合では保健事業の一環として、大腸がん・子宮頸がん・歯周病リスク検診と今年度に限り胃がんの原因となるピロリ菌感染の有無を調べるピロリ菌検査を実施いたします。

がん・歯周病の早期発見・早期治療のため、ぜひこの機会にご受診ください。

この検診は、自宅で検体を採取し、検査機関に郵送するだけの簡単な方法ですので、健康チェックにお役立てください。

<p>今年度 限り</p> <p><b>ピロリ菌</b> (便中抗原検査)</p> <p>・1日分の便を採取します</p>	<p>子宮頸がんの リスクが わかります。</p> <p><b>子宮頸がん</b> (細胞診・HPV同時検査)</p> <p>・一度の検査で子宮頸がん検査 (細胞診)とHPV検査ができます。 ※妊娠中の方は申込みできません。</p>	<p><b>大腸がん</b> (便潜血検査)</p> <p>・今注目のトランスフェリン 同時測定</p>	<p><b>歯周病</b> (唾液検査)</p> <p>・唾液を採取します。</p>
---	--	--	--

## 【記】

### ★ 検診対象者

ピロリ菌 子宮 歯周病 大腸	} 満18歳以上の被保険者および被扶養者 } 満30歳および満35歳以上の被保険者および被扶養者 (年齢は2027年3月31日現在)
-------------------------	--

### 対象外

※年度内に同じ項目の検査補助を受ける(た)場合

- ・子宮頸がん検診・・・人間ドック、市町村検診
- ・大腸がん検診・・・被保険者の定期健康診断、人間ドック、市町村検診

※当健康保険組合に加入されていない家族の方は対象外。

### ★ 検診費用

無料 ※但し、採取後の検体返送料は自己負担です。  
ピロリ菌・大腸がん:110円 子宮頸がん・歯周病:140円

### ★ 申込方法

申込ハガキに必要事項を記入の上、個人情報保護シールを貼って郵送(切手不要)していただくか、右の申込みフォームを読みとり、専用のフォームからお申し込みください。

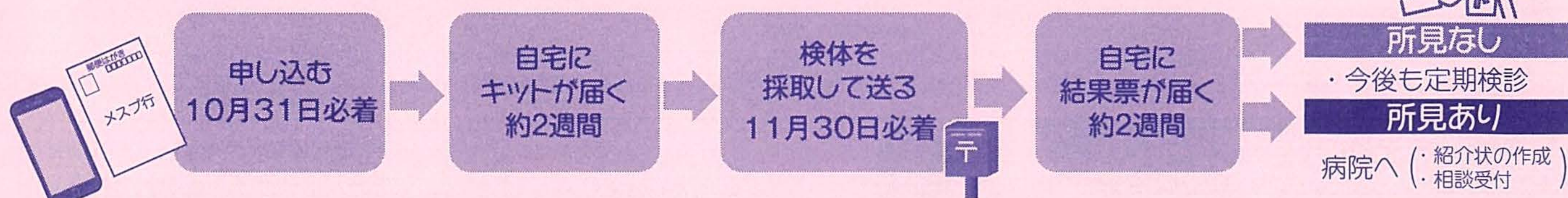


〈申込みフォーム〉

### ★ ご注意

※既にピロリ菌を除菌された方はピロリ菌検査を申し込む必要はありません。  
※ピロリ菌検査は検査の精度上7～9月は実施していません。検体の返送は実施～6月末、または10月以降の返送となります。

## お申込みからの流れ



### ★ 検査機関

メスブ細胞検査研究所(京都府登録衛生検査所第38号) TEL(075)231-2230

当検診を申込まれた場合、検診および精密検査の未受診の方に対して、皆様の健康を守る目的で、事業主から受診勧奨を行う場合があります。予めご了承ください。

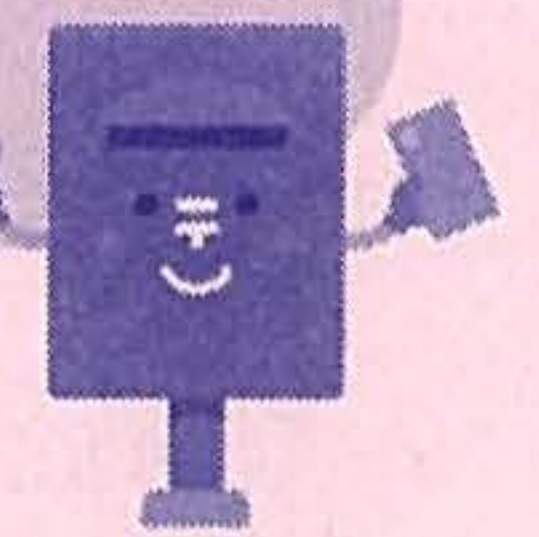
### ご注意

・申込をして器具を受け取られた方は必ず受診してください。  
11月30日までに検体の返送がない方は器具代を請求させていただきます。  
(大腸がん:820円、子宮頸がん:1,290円、歯周病:1,370円、ピロリ菌:850円 税別)

# 毎年の検診受診が 早期発見・早期治療につながります!!

— 日本では2人に1人が“がん”にかかります —

簡単!  
自宅で採取して  
ポストに入れるだけ!



## 大腸がん検診 早期発見・早期治療により、ほぼ治癒します!

より精度が  
高い検査です!

### 大腸がんは誰にでもかかるリスクがあります。

近年、食生活が欧米化し、特に食物繊維不足等により腸内環境が悪化し、がんが発生すると言われていています。

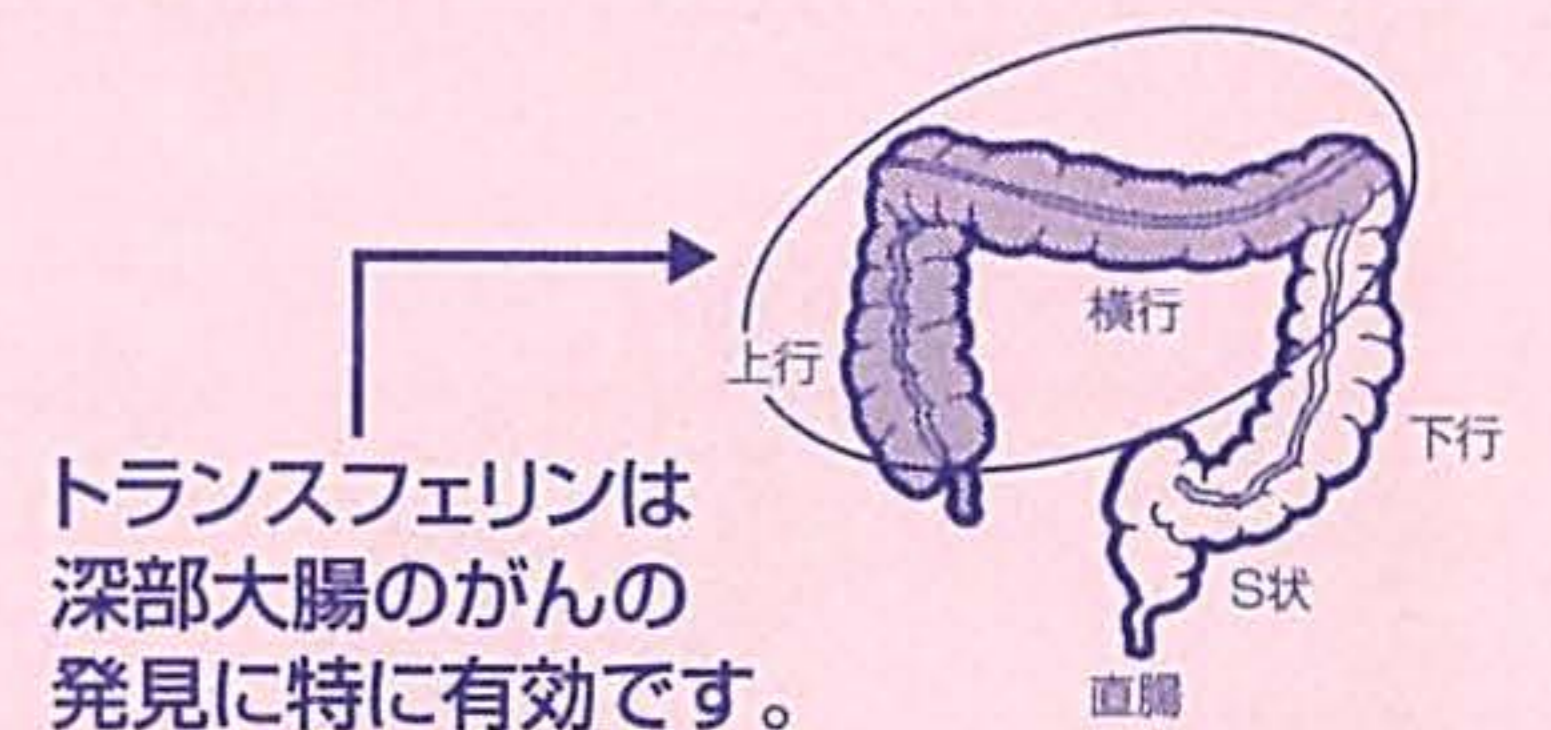
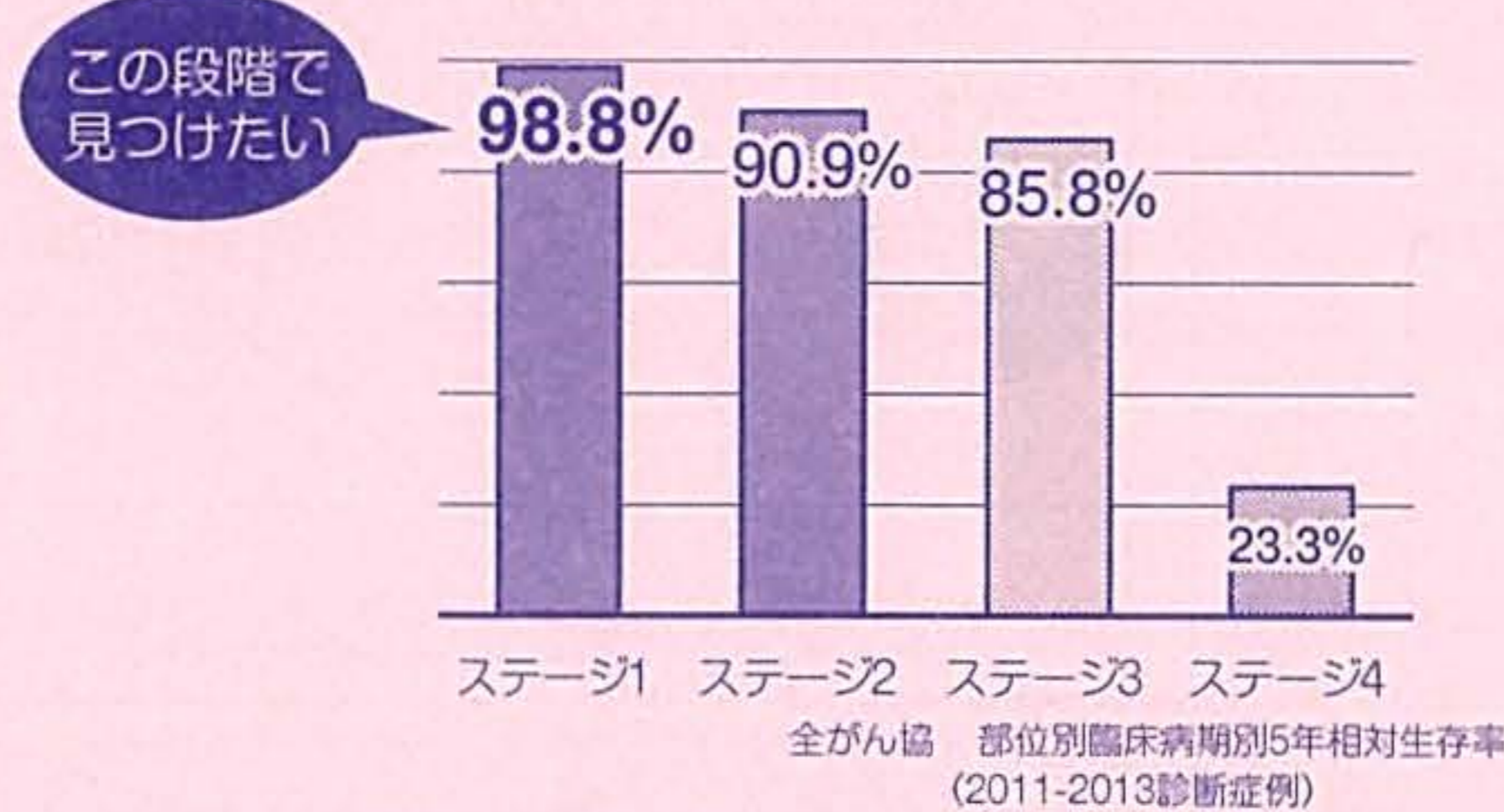
大腸がんは、早期のステージ1で発見され、治療されると生存率は98.8%。進行したステージ4の発見では、23.3%に。

トランスフェリン (Tf) とヘモグロビン (Hb)、便中の2つの血液成分を測定します。Tfは腸内細菌や環境の変化の影響を受けにくく安定性が高いため、同時に測定することでより精度の高い検査となります。

#### 最新の予測

大腸がんは!  
**がん罹患者数 第1位**  
**がんでの死亡原因 女性 第1位**  
**男性 第2位**

出典：国立がん研究センター  
がん情報サービス2025年のがん統計予測



## 子宮頸がん検診 HPV検査 検診を定期的に受ければ予防できます。

20~30歳代  
急増

### 子宮頸がん細胞診とHPV同時検査でより安心です。 (一度の採取で2つの検査を同時に受診できます。)

**細胞診**

子宮腔・頸部の細胞を顕微鏡で調べます。  
がん細胞や異型細胞(前がん状態)の段階を見つけます。

**HPV検査**

HPV感染の有無を調べます。  
子宮頸がんの原因となるハイリスク型HPV感染の有無を調べます。

子宮頸がんのリスクがわかる

より安心

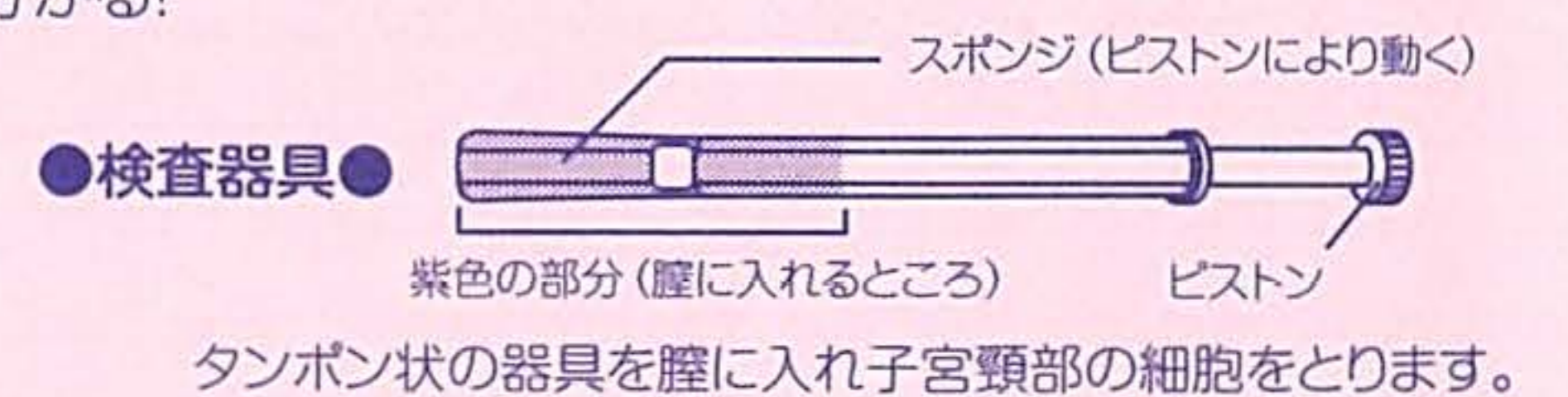
乳がん  
自己触診チェックつき

毎月1回、自分で触ってチェック!

細胞診：  
前がん状態・がんを見つける!

HPV検査：  
がんになる原因のHPVに感染しているかが分かる!

- 子宮頸がんはヒトパピローマウイルスの感染により発生。
- 女性の50%以上が一度はかかるありふれたウイルスです。



## 歯周病リスク検診 お口の中は大丈夫ですか?

### 歯周病は歯を失う原因になるだけでなく、様々な病気のリスクを高める全身病です!

歯周病は、進行すると歯周ポケット内の血管を通して、歯周病菌が全身に運ばれ、様々な病気を引き起こし悪化させます。

### 出血で歯周病が悪化!?

歯磨きをしているときなどに歯茎から血が出ることはありませんか? 歯周病菌は赤血球ヘモグロビンの“ヘミン鉄”が好物です。鉄分を得て歯周病菌は爆発的に増殖します。

簡単!  
唾液を採取して送るだけ



#### 受診者の声

診断 中等度歯周病

軽度~中等度の状態でしたが、歯石除去とブラッシング指導を受け現在は正常になりました。受けてよかったです。 40代

この検査では、採取した唾液中の血液反応(ヘモグロビン)を測定し、歯周病の進行度合いがわかります。

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。

検査機関では、受診者の方に合った病院をご紹介します。

お気軽に検査機関にお問い合わせください。

受診後も安心!!

メスブ細胞検査研究所まで  
お気軽にお問い合わせください

TEL 075-231-2230(平日10:00~16:00)  
FAX 075-211-7400  
メール mail@msp-kyoto.co.jp

今年度限り

(注) ピロリ菌検査は検査の精度上7月～9月は実施していません。  
検体の返送は実施～6月末、または10月以降となります。

(期間限定)

# ピロリ菌除菌で胃がん予防！

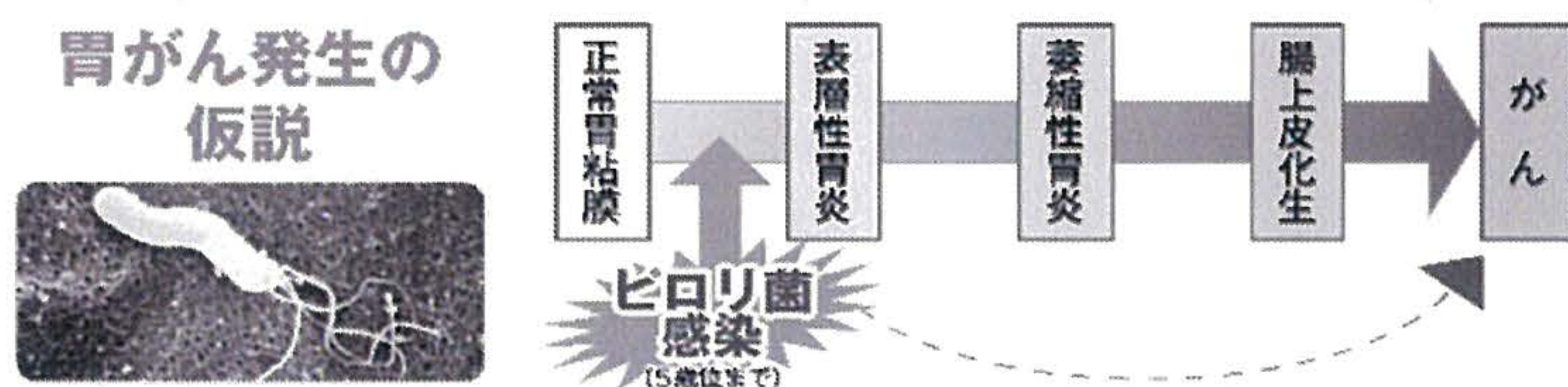
—胃がんの主な原因はピロリ菌です—



## ■ピロリ菌感染が

「胃がん」や慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍を引き起こします。

ピロリ菌は胃にすむ細菌で、免疫力の弱い5歳くらいまでの間に感染し、除菌治療をするまで感染は持続します。ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃・十二指腸潰瘍や胃がんを起こすことが知られています。大人になって感染することはほとんどありませんので、一度検査をして除菌すれば胃がんへのリスクが低くなります。



ピロリ菌に感染すると、胃の粘膜が萎縮し、潰瘍・がんを引き起します。

<こんな方は受診を！>

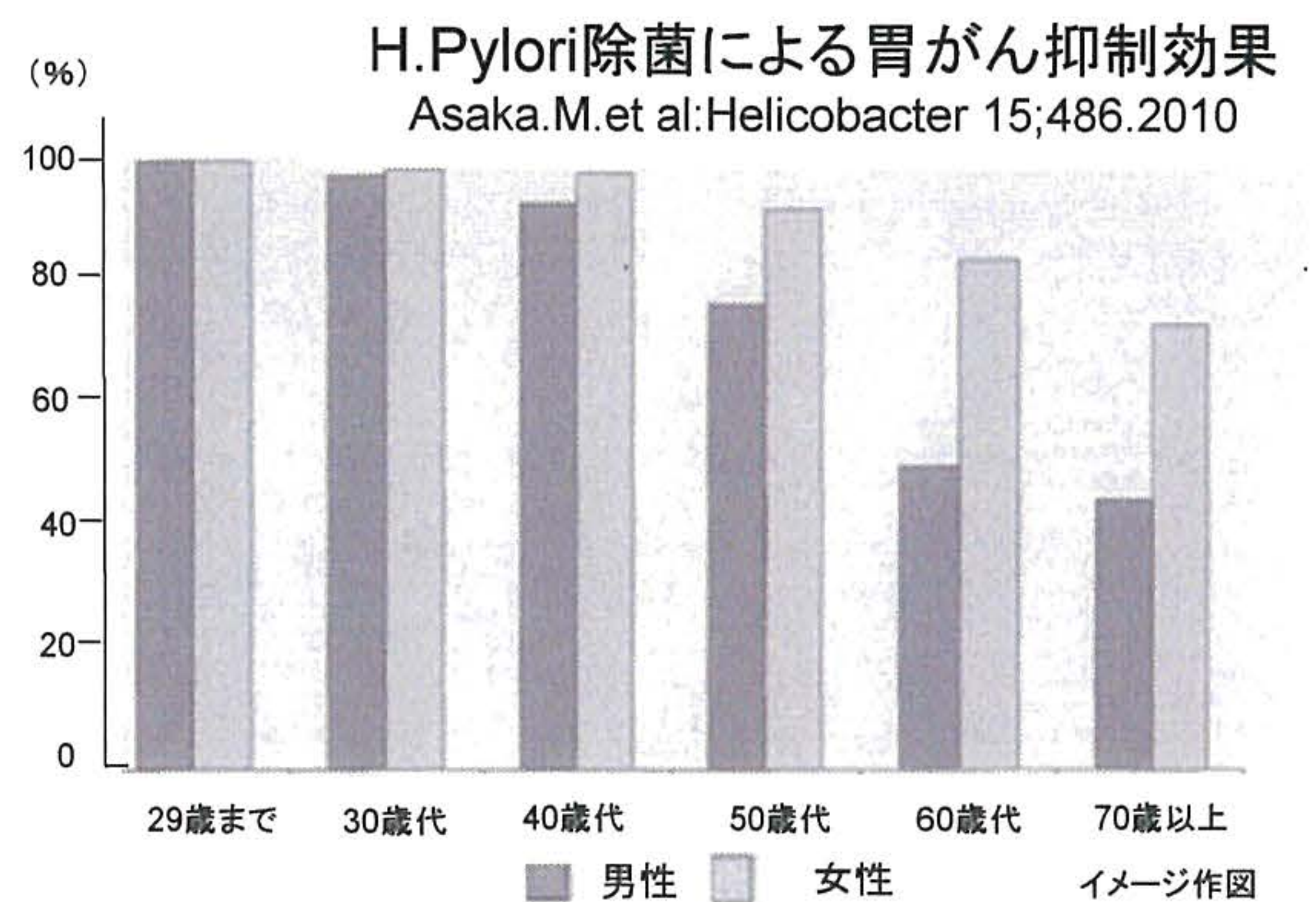
- ・胃の調子が悪い
- ・家族に胃・十二指腸潰瘍にかかった人がいる

## ■ピロリ菌で陽性だったら？

検査結果が「陽性」だからと言って、胃がんや胃潰瘍・十二指腸潰瘍などがかならず発症するわけではありませんが、ピロリ菌の除菌治療を行うことにより、潰瘍の再発防止、胃がん発症のリスクが低下するなど、胃の状態改善が期待できます。

できるだけ早めに除菌をしましょう。

除菌は若いうちの方が効果が高く、30歳までに除菌することが理想ですが、50歳でも遅いということはありません。



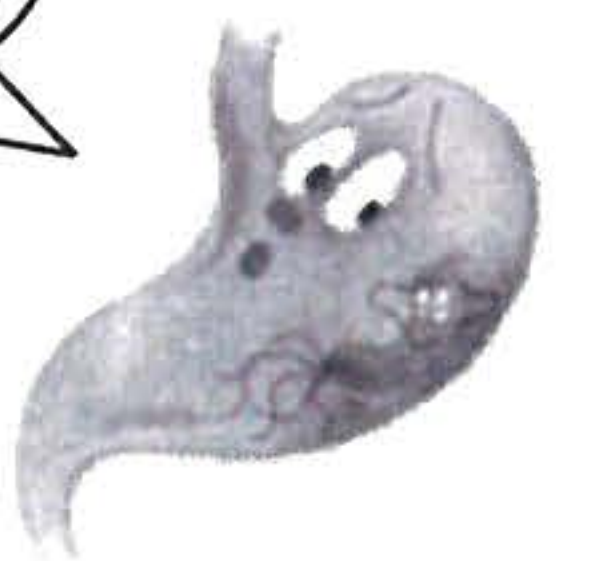
## ■採取は簡単！ 1日分の便を採取するだけ

検査器具



便中のピロリ菌抗原を検査することにより、現在のピロリ菌感染の有無を調べます。

除菌は  
早い目が効果的！



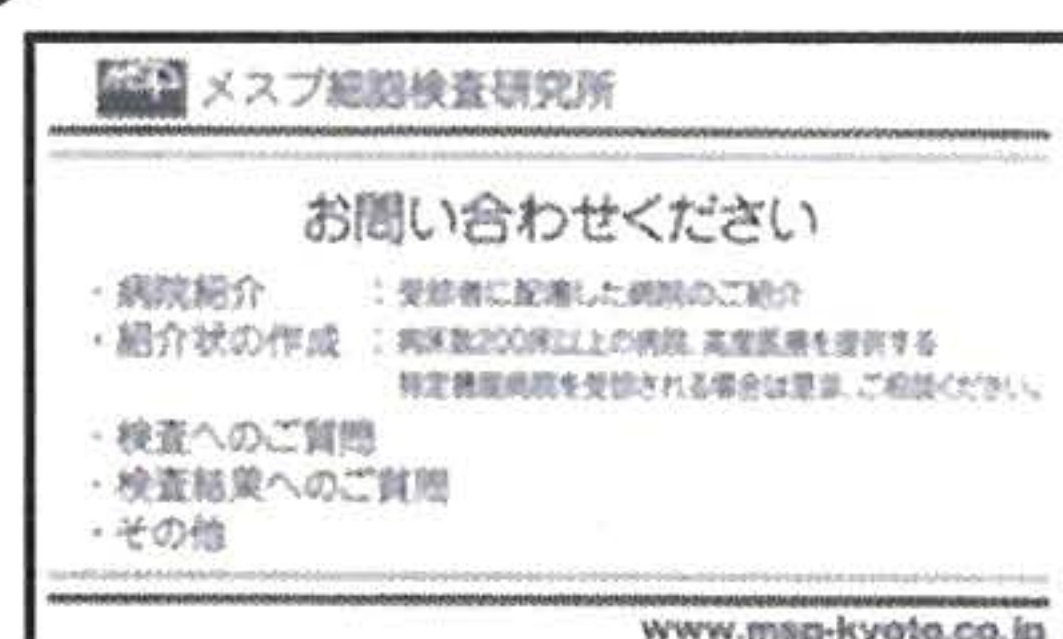
### <注意>

ピロリ菌検査は胃がんや胃炎などをひき起こす「ピロリ菌」感染の有無を調べる検査です。「胃検診」の受診は引き続き必要です。

また、既にピロリ菌を除菌された方はピロリ菌検査を申込みする必要はありません。

受診後も安心！

結果が陽性となった場合は、必ず精密検査を受けましょう



検査機関では、受診者の方にあつた病院をご紹介します。

紹介状の作成（無料）もしていますので、お気軽に検査機関にお問い合わせください。

検査機関：メस्प細胞検査研究所 TEL (075) 231-2230

HP <https://www.msp-kyoto.co.jp/>

【注意事項】  
・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。  
・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密検査、陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診ください。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。